



えどがわボランティアセンターだより

出会い

ふれ合い

助け合い

令和7年6月発行
第72号

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【発行】

公益財団法人えどがわボランティアセンター
〒132-0031 江戸川区松島1-38-1 グリーンパレス
電話:03-5662-7671 FAX:03-3653-0740

江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けてSDGsに積極的に取り組んでいます。

ここでも
ボランティア①

「デイジー江戸川」でボランティア活躍中！ 内藤泰司さんにインタビュー



1 ボランティアを始めたきっかけ(ボランティアとの出会い)

会社員そして公務員として働き、定年退職後には少しばかりアルバイトを続けてきましたが、何か物足りなさを感じていました。そんな時、広報えどがわで「熟年介護サポーター」の記事が目にとまりました。どのようなことをするのか分かりませんでしたが、誰かの役に立ちたいと思っていたので応募することにしました。

平成30年5月に研修を受け、8月に登録の上、9月1日から「なごみの家北小岩」でボランティアとしての活動を開始しました。毎週1回2時間の活動だったので、もう少し何かしてみたいと漠然と感じていました。平成31年1月に参加した「介護サポーターの集い」で出会いがありました。隣にいた女性から、デイジー講習会があるから、ぜひ参加するよう熱心に誘われました。それがきっかけで「デイジー江戸川」に加入しました。

2 「デイジー江戸川」の活動

平成31年3月に、えどがわボランティアセンター主催の「デイジー講習会」修了後、4月から「デイジー江戸川」での活動を開始しました。デイジー図書とは、パソコンに取り込んだ音声をデイジー規格で編集した本のことです。その国際標準規格は、1996(平成8)年5月から始まりました。

パソコンの操作は分かりませんが、音訳された書籍の編集方法等、分からないことばかりでした。しかし、毎月開催される例会のほか個別に付いてくれた訓練担当者が丁寧に教えてくれるので心強く感じました。

約1年の研修期間を経て編集方法を習得し、やっと自分一人で編集しました。2年ほど前に先輩が引退される際、「音取り」と呼んでいる、カセットテープからパソコンへ音源を取り込んでデジタル化する作業を任されるようになりました。「音取り」は、音源が古いので雑音が多いこともありますが、そのような場合には、依頼者と相談しながら作業をしています。現在は個人、区広報課、図書館等からの依頼によりデイジー図書の制作活動を続けています。

3 その他の活動

「なごみの家北小岩」では、毎月ミュージックサロンが開催されていました。コロナ禍による人数制限で、サロンへ参加できなかった方々のため、その模様をビデオ録画し別途、上映会を開催することになりました。コロナ禍が落ち着きましたが、今後も記録に残しておく方針ですので、ビデオ撮影の担当を続けていきます。ビデオ撮影では、自分も楽しみながら、皆さまに喜んでいただいています。

江戸川区福祉ボランティア団体協議会では、令和5年度から会計監査を担当しています。また、広報部会に所属しており、今まで「ボランティア交流会」や「東日本盲導犬施設見学会」のイベントを掲載した協議会の広報紙を発行しました。

4 今後に向けて

デイジー図書の制作活動は、「サートラス※」への登録件数を見ても、まだまだ認知度の低いボランティア活動です。目の不自由な方々のなかには読書を楽しみたいと思っている人がたくさんいると思いますので、その方々にデイジー図書を利用してもらい、本を「聞いて」楽しんでいただきたいと思います。

改めて、いつも笑顔で送り出してくれる妻に感謝しながらこれからも活動を続けていきたいと考えております。 ※「サートラス」…文化庁が所管する団体が著作権を管理するという制度



内藤泰司さん
(ボランティアセンターにて)



「声の広報えどがわ」編集模様



なごみの家北小岩にて



デイジー江戸川創立25周年記念パーティー



ミュージック☆サロン

問合せ先 (公財)えどがわボランティアセンター ☎03(5662)7671

今年も開催！2025夏のボランティア体験



夏にボランティア体験をしてみませんか？

ぜひ、ボランティアへの最初の一步としてご参加ください。

【期間】 令和7年7月19日(土)～8月31日(日) 【費用】 350円(ボランティア保険料)

【概要】 図書館での書架整理、保育園や特別養護老人ホームでの体験、イベントでの体験など
当センターで実施する次の説明会(グリーンパレス)への参加が必要です。(予約制)

7/9(水) 7/12(土) 7/23(水) 7/26(土) 7/30(水)

8/9(土) 8/20(水) (いずれか1回)

※詳しい体験先や説明会への参加方法は、当センターHPで順次お知らせします。また、夏ボラ体験を受け入れていただける“団体・施設”とボランティアを必要とする“イベント”も募集中です。



2025ボランティアフェスティバル開催決定！

【日時】 令和7年12月6日(土) 10時～15時 【会場】 タワーホール船堀

※今後、実行委員会で内容を決定し、6月に当センターHPで参加団体募集などの詳細をお知らせする予定です。



令和7年度 ボランティアセンター土曜開所日

令和7年度 土曜開所日カレンダー

今年度の当センターの土曜開所日は、昨年度に引き続き、毎月第二、第四土曜日で右の表のとおりです。

(4月、5月は省略) 時間は午前9時から午後5時までです。

6月	14日・28日	11月	8日・22日
7月	12日・26日	12月	13日・27日
8月	9日・23日	令和8年1月	10日・24日
9月	13日・27日	2月	14日・28日
10月	11日・25日	3月	14日・28日

ボランティア入門講座「障がいを知ろう」を開催しました

3月15日にグリーンパレスで、江戸川区福祉ボランティア団体協議会の主催でボランティア入門講座が開催され、12名が参加しました。障がいのある方へのボランティアには、先ずご本人たちに直接接することが大切です。

視覚障がい者、車いす利用者、聴覚障がい者の方がそれぞれ講師として、日常生活で困っていることや健常者をお願いしたいことをお話しした後、パラスポーツボッチャの体験をしました。

当日は、皆さん真剣な表情ながらも、楽しそうに受講していました。今年度も8月16日(土)に開催予定です。詳細はお問合せください。



パラスポーツボッチャ体験

このページのお問い合わせ先

(公財) えどがわボランティアセンター

Tel 03-5662-7671

「出前ボランティア体験事業」のスタッフを募集

当センターは江戸川区福祉ボランティア団体協議会と共催で、標記の事業を実施しています。出前ボランティア体験事業でのスタッフを募集します。資格などはありませんので、ぜひご応募ください。なお、見学も受け付けています。

◆ 訪問先 区内保育園・小学校・中学校など

◆ 実施回数

月1～2回程度。ご自身の都合に合わせてご参加ください。

◆ 出前ボランティア体験事業の内容

障がいをお持ちの方のお話、生活便利グッズの紹介、車いす・ガイドヘルプ・手話、パラスポーツ(ボッチャ)、視覚障がい者の疑似体験(目隠しでの似顔絵作成)

◆ 募集するボランティア

お話をしていただける方 … 車いす利用の方や視覚・聴覚の障がいをお持ちの方で、ご自身の実体験や困っていること、誰もが住みやすい地域社会の実現に向けての思いをお話いただける方
運営スタッフ … 同じ思いを持つボランティアの仲間とともに会場となる教室・体育館で体験の準備、体験中の補助、終了後の後片付けをしてくれる方



保育園での出前体験事業

【問合せ先】 えどがわボランティアセンター TEL03-5662-7671



「ボランティア全体交流会」を開催しました

出会い
ふれ合い
助け合い

3月10日にグリーンパレスで「ボランティア全体交流会」を開催しました。当センターに登録している、福祉、環境、熟年者支援、国際交流など様々な分野で活動するボランティア53名が参加しました。第一部の講演会では、「世界が注目するヨガの力で快眠」をテーマに「江戸川区ヨガ協会理事長、NPO法人日本シニアヨガ協会代表理事足立由喜子氏」に座って簡単にできるヨガの体験を交えながら講演をしていただきました。皆さん真剣に、また楽しそうに体験していました。第二部では、参加者がグループに分かれて、日頃のボランティア活動について、情報交換と意見交換を行い、交流を深めました。



足立由喜子講師



ヨガの体験



グループ討議



●使用済み切手 受領:57件/23.2Kg

●あすなろ会 左 真紀一座 5,000円 ● ● ● ●

ボランティアの振興に、有効に使わせていただきます

3月・4月分

ボランティア団体登録数

登録団体数:159団体 登録人数:3,385人
(令和7年4月末現在)



“上一色コミュニティセンターまつり”に「布絵の会」が参加しました

4月20日に上一色コミュニティセンターで開催されたまつりにボランティア団体「布絵の会」(代表:吉崎俊子さん)が参加しました。

フェルトのキットを事前に100個用意をして、自分でストラップを作成する体験をしてもらいました。いつも大盛況で、終了予定時間より早く材料がなくなります。小さなお子さんから熟年者まで、皆さん自分で作った“ねずみのストラップ”を嬉しそうに持ち帰りました。



ボランティアセンター新メンバーの紹介



森 事務局長

4月に事務局長に就任させていただきました森と申します。

これまで江戸川区役所で、福祉、健康、子ども等の部門を担当してきました。ボランティアセンターにお越しになる方々にはこれまでも様々なところでお世話になってきました。これからは私がボランティアの方々のお手伝いができればと考えています。

人生100年時代。ボランティアが皆さまの生きがいの一つになれるように、そして江戸川区の目指す「ともに生きるまち」につながることを願っています。

令和7年4月より
えどがわボランティアセンター
に配属になりました
辻と申します。



辻(つじ)

令和7年4月より
えどがわボランティアセンター
に配属になりました
岡と申します。

岡(おか)

ボランティアといえば、人々を笑顔にする、助け合いの活動、という印象がまず浮かびます。私自身、学生時代に何度かボランティア活動を行いましたが、いつも活動先の方々から感謝していただけて、私まで嬉しかった記憶があります。そんな心温まる素晴らしい活動を、今度はボランティアセンターの職員として支えられることを大変嬉しく思います。関係者の皆さまが活動しやすい環境づくりに努めるとともに、皆さまから日々学びながら、ボランティア活動の周知・促進に積極的に取り組んでまいります。

至らない点も多いかと思いますが、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

道路や公園等でごみ拾いをしているボランティアの方を見かけたことがあります。私も学生時代にごみ拾いのボランティアの経験があり、多くの人と交流するきっかけになったことや街中が綺麗になることで達成感を味わうことができました。

ごみ拾いや清掃以外にも高齢者や障がい者の方をサポートする活動や地震・水害等の自然災害が発生した際の復興支援活動等、様々なボランティア活動があります。このようなボランティアの自主性や社会性を尊重し、人と人が助け合える社会の実現を目指してボランティア活動の素晴らしさを広めていけるよう尽力します。どうぞよろしくお願いいたします。

<吉田前事務局長からのメッセージ>

8年間、ボランティアの皆さま方と楽しく過ごせたこと、心からお礼申し上げます。共生社会を目指す江戸川区にとって、皆さま方の存在は、今後欠かせないものとなります。これからの益々のご活躍を祈念いたします。

(吉田前事務局長は令和7年3月31日で退任されました)

問合せ先 (公財)えどがわボランティアセンター ☎ 03(5662)7671